

安全かつ分かりやすい作業環境の構築

和歌山大学ソーラーカープロジェクト

○活動目的

【目的】

作業場（共有スペース・ガレージ）における安全性向上と作業効率の改善を目的として、5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を導入し、その定着を図る。

【背景】

作業場では物品の紛失が頻発しており、それに伴い作業効率の低下やコストの増加が発生している。これらの課題を解決するために、5S活動の導入が求められた。

【目標】

5S活動の普及を促進し、作業場の環境を改善する。実施状況の評価および改善点の抽出を行い、5S活動の成果を明確にする。

○活動内容

①不要な物品の廃棄（整理）

- ・木材の端材や不要なダンボールなどを処分した。
- ・期限が切れた薬品などの産業廃棄物をまとめ、クリエの一斉廃棄に合わせて廃棄した。

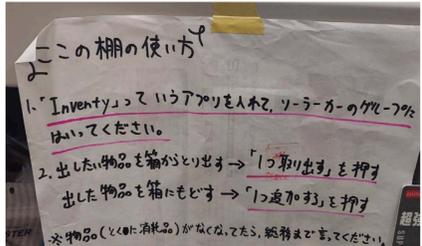


クリエにあった産業廃棄物→

②アプリによる物品の在庫管理（整頓）



Invenityの物品確認画面



Invenityの使用方法

- ・Invenityというアプリを導入した。これにより、どこでも物品の使用状況を確認できるようになった。
- ・全員が適切にアプリを使用できるよう、使用方法を作業場の棚に掲示し、視認性を向上させた。

③通路の可視化（躰）

- ・クリエの共有スペースにおける通路を可視化した。
- ・これにより、物品の配置禁止エリアを明示し、外部の利用者にも動線を分かりやすく示せた。



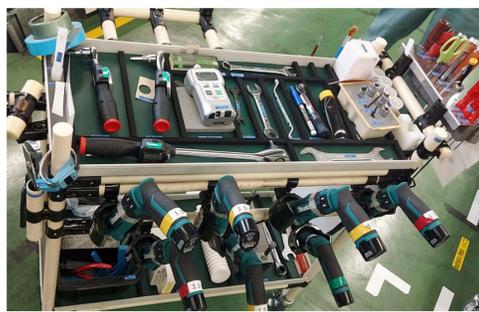
Before



After

④協力企業様の工場見学（清潔）

- ・ノーリツプレジジョン株式会社、株式会社関西クラウン工業社様の工場を見学させていただいた。
- ・移動式の作業台や、省スペースでの収納方法を学んだ。



ノーリツプレジジョン株式会社様



株式会社関西クラウン工業社様

○現在の課題 & 将来展望

- ・ Invenityの使用率が低く、確実性が不十分 → より在庫リストにアクセスしやすい方法を探す
- ・ 作業に必要な物品が変わることによる紛失リスク → 作業を細分化して各工程に必要な物品をリスト化

作業に必要な物品が一つの箱にまとまり、どこにあるかをすぐ確認できる仕組みを作る！